



2022年4月14日

各位

会社名 株式会社 識学
代表者氏名 代表取締役社長 安藤広大
(コード番号 7049 東証グロース)
問合わせ先 取締役経営推進部長 佐々木大祐
(TEL: 03-6821-7560)

2022年2月期通期業績予想との差異に関するお知らせ

2021年4月14日に公表しました2022年2月期(2021年3月1日~2022年2月28日)の連結業績予測値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年2月期通期連結業績予想と実績の差異(2021年3月1日~2022年2月28日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,798	百万円 470	百万円 400	百万円 353	百万円 153	円 20.33
実績(B)	3,823	429	359	346	224	29.06
増減額(B-A)	25	△41	△41	△7	71	8.73
増減率(%)	0.7%	△8.7%	△10.0%	△1.7%	47.0%	42.9%
(参考)前期連結実績 (2021年2月期)	2,506	199	137	199	△41	△5.60

2. 予想との差異の理由

売上高については、マネジメントコンサルティングサービス売上高を中心に順調に推移し、プラットフォームサービスにおいては「識学 基本サービス」の拡販に注力した結果、「識学 基本サービス」の契約社数は524社(前連結会計年度末対比+357社)となり、プラットフォームサービスの売上高が増加したこと等により、概ね前回公表予想並みとなりました。

EBITDA、営業利益及び経常利益については、講師の積極的な採用による採用教育費及び顧客基盤拡大のための積極的なマーケティング活動による広告宣伝費を計上したこと等により、前回公表予想を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、識学1号投資事業有限責任組合で保有している株式を一部売却し、投資有価証券売却益を計上したこと等により、前回公表予想を上回る結果となりました。

以上